

■6月1日

JTA、3月期決算、経常利益過去最高

日本トランスオーシャン航空は30日、2013年3月期の決算を発表した。営業収益は、旅客数の増加で前期比0.6%増の397億2200万円。営業費用は機材費の削減などで5.7%減の353億2300万円、経常利益は過去最高の44億2100万円で128.3%増となった。また、当期純利益は、機材売却に伴う整備費などの特別損失があり21億3200万円。営業収益の8割に当たる旅客収入は前期比1.4%増の328億9千万円。

スカイマークやLCCとの競合路線での価格競争が激化したことで客単価は落ち込んだが、割引運賃の拡充や離島商品のキャンペーン効果で旅客数は過去最高となった。

また、14年3月期の見通しは、スカイマークやLCCとの競争の激化や、機材更新に向けたコスト削減計画により増収減益と予想している。

(沖縄タイムス)5/31

http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-31_49915 (-> http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-31_49915)

(JTAプレスリリース)5/30

<http://www.churashima.net/jta/company/press/pdf/13024.pdf> (-> <http://www.churashima.net/jta/company/press/pdf/13024.pdf>)

ジェットスター・ジャパン(LCC)、鹿児島路線へ参入

ジェットスター・ジャパンは31日、成田と中部から鹿児島空港の2路線を開設した。いずれも1日最大2往復で運航する。運賃は成田～鹿児島線が5490～2万9990円、名古屋～鹿児島線が4990～2万4990円。同社にとって、鹿児島は国内8カ所目の就航地で、九州・沖縄では福岡、沖縄、大分に次いで4カ所目となる。また、6月11日には成田—松山線を開設する。

成田からの初便は、乗客は152人で搭乗率は83.3%、折り返しの鹿児島からの出発初便は中部行きで、164人の乗客が利用した。

同社の鈴木みゆき社長は、ジェットスター・ジャパン全体のL/Fについて、季節変動がかなりあるとした上で、3月は87%程度、4月は75%弱とのことで、夏期の予約状況も順調に推移している事を明らかにした。

なお鹿児島空港では昨年4月、ピーチ・アビエーションが、鹿児島—関西線を就航させており、今後、競争の激化も見込まれている。

(aviationwire)5/31

<http://www.aviationwire.jp/archives/21173> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/21173>)

(日テレ)5/31

<http://news24.jp/nnn/news8723511.html> (-> <http://news24.jp/nnn/news8723511.html>)

(読売新聞)6/1

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kagoshima/news/20130601-OYT8T00054.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kagoshima/news/20130601-OYT8T00054.htm>)

長崎空港、開港以来9000万人突破、PEACH(LCC)就航で利用者増

長崎空港の乗降旅客数が5月30日、1975年の開港以来通算9000万人を突破し、記念式典が開かれた。錦織空港長は式典で「2016年12月には節目の1億人を突破したい」とあいさつをおこなった。

長崎空港は96年のピーク時には年間約320万人が利用。米同時多発テロ事件などの影響で一時、減少傾向にあったが、11年に格安航空会社「ピーチ・アビエーション」が就航したことなどで再び増加している。

(読売新聞)6/1

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nagasaki/news/20130531-OYT8T01459.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nagasaki/news/20130531-OYT8T01459.htm>)

国交省、3月、九州7県への外国人入国者、単月過去最高一脱中国ばなれ

国交省九州運輸局は31日、3月の九州7県への外国人入国者数が11万8千人に上り、単月の過去最高を記録したと発表した。アベノミクスによる円安効果で韓国や台湾、東南アジアからの観光客が急増した。一方、中国からの観光客は低調に推移しており観光産業でも脱「中国依存」が進んでいることが鮮明になった。産経ニュースが報じた。

3月の外国人入国者数は11万8233人で、前年同月比27%増加した。昨年3月以降、13カ月連続で単月の過去最高記録を更新した。

特に今年に入ってから増加が顕著で、1～3月は前年同月比で20%前後の伸びを示している。対馬への韓国人観光客が高止まりしていることに加え、台湾やタイなど東南アジアからの航空路線の搭乗率が好調に推移している。反面、中国人観光客は減少が続く。

九州運輸局は「中国抜きで過去最高という数字が出ていることは、九州の観光にとって大きな意味を持つ」とする。

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130601/fkk13060102010000-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130601/fkk13060102010000-n1.htm>)

ボーイング787対応：全日空・日航、定期便運航再開、初便は羽田からの国際線

(日経によると)

全日本空輸と日本航空は1日未明、ボーイング787型機の定期便の運航を再開した。中核機材が約4カ月半ぶりに復帰したことで、両社は再び成長戦略を加速する。利用者の不安は残るものの、予約は現在のところ堅調だ。両社は国内外で787の投入路線を拡大し巻き返しを狙う。

全日空と日航の787の定期便運航再開の初便はともに羽田発の国際線となった。全日空は羽田—フランクフルト線、日航は羽田—シンガポール線で両便とも午前1時ごろに羽田を出発した。

両社は日米運輸当局から運航再開の認可を4月26日に受けて以降、約1カ月かけ500回以上の試験飛行を繰り返した。トラブル原因となったバッテリーの安全確認とパイロットの訓練を徹底した。再開初便に搭乗する直前、全日空の篠辺修社長は「自信を持って定期便を提供できるようになった」と語った。

世界最多の18機を保有する全日空、8機保有する日航それぞれにとって787の不在は痛手だった。トラブルが起きた1月16日から6月末まで787欠航の業績への影響は全日空で約75億円、日航は5月末で約39億円の営業減益要因となる。両社合計で100億円超の利益が吹き飛び計算だ。

待望の787復帰を受け、両社は同機の投入路線を増やす。全日空は1日から羽田—秋田線、国際線でも羽田—台北など近距離路線中心に重点投入し、合計18路線に拡大。日航は7月以降、成田—デリー、羽田—サンフランシスコ線など国際線の中・長距離路線を中心に5路線増やし計11路線にする。「燃費が良く、中型機でありながら長距離を飛べる787の特性を生かす」(日航の植木義晴社長)

原因究明作業は途上なだけに利用者の787離れが懸念される。全日空便に搭乗した50代の男性は「十分にトラブルが検証されたか疑問」と語った。787が飛ぶ国内路線の6月予約数は前年同月比8%増。日航は787を国際線でのみ運航するが、787の6月の予約率は国際線全体と同程度だ。1日の両社の便はほぼ満席で、営業面でのトラブルの影響はとくにないという。「利用者は冷静な対応をしている」と全日空の篠辺修社長は胸をなで下ろす。

格安航空会社(LCC)や海外勢との競合が激しくなる中、787便への利用者動向が両社の成長のカギを握りそうだ。

(日経)6/1

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD310FB_R30C13A5TJ0000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD310FB_R30C13A5TJ0000/)

政府、成田—羽田空港結ぶ「都心直結線」構想、成長戦略へ盛り込む方針

政府は30日、成田空港と羽田空港を結ぶ新鉄道「都心直結線」構想の推進を6月にまとめる成長戦略に盛り込む方針を固めた。今秋にも地質調査を始め、早ければ平成30年代半ばの開業を目指す。これまで1時間半以上かかった

両空港間を直通で1時間以内で結ぶ。アクセス時間の短縮は、両空港の一体活用を促すものとしても期待される。産経ニュースが報じた。

新路線ができれば、成田空港から東京駅までの所要時間は、現在の平均約50分から37分に、羽田空港からは平均25分から22分に、それぞれ短縮される。成田空港から羽田空港までの所要時間は、最短で約1時間半から1時間未満になる計算だ。

アクセス時間が短縮されれば、成田空港から羽田空港への国内線および国際線の乗り継ぎがスムーズになる。成田空港に就航する海外のLCC利用客が、羽田空港へ移動して国内線に乗り継ぎ、地方を観光する需要も喚起できる。

(産経ニュース)5/31

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130531/fnc13053107100001-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130531/fnc13053107100001-n1.htm>)

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130531/biz13053109030011-n2.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130531/biz13053109030011-n2.htm>)